

東郷亜由美

イタリア

声楽家

①新型コロナウイルス感染拡大前後で生活はどのように変化しましたか。

常勤の仕事は元々ありませんでしたが、音楽アカデミーに教えに行く日もあれば、演奏会でヨーロッパ各地に行っていました。イタリアはいち早くロックダウンし、コンサートや演奏を伴う講習会は全てキャンセル、音楽アカデミーのレッスンは全てリモートになりました。音楽活動はマイナスばかりでしたが、翻訳の仕事や元々登録していたオンライン語学学習サイトの日本語レッスンリクエストが爆発的に増え、かえって忙しくなりました。しかし、家族全員(夫と夫の息子二人)家にいたので、24時間顔を合わせているというのは疲れました。

②コロナ禍で気づいたことや学んだことはなんですか。

これまで真剣にやっていなかった日本語教師という新しい扉が開いたことはプラスでした。常に家族が家にいるという状態は息苦しさの反面、自然とお互い協力し合う気持ちが芽生えたのは良かったです。

④現在(2022年12月)のイタリアでの生活はどうか。

医療施設以外でのマスク着用義務も随分前になくなり、通常運転に戻りましたが、神経質なくらいに気にする人がまだいるというのも事実です。

⑤イタリアと日本との違いを強く感じた場面があれば教えてください。

日頃マスクが身近な日本と違って、イタリア人にマスクの必要性や正しい使い方を教えるのは本当に大変で、そして本当に理解した人は果たして何割いるのだろうか?という疑問があります。